

学会参加者へのご案内

1. 会期および会場

- ・会 期：2026 年 9 月 26 日（土） 13：00～17：15
- ・会 場：日本赤十字社中四国ブロック血液センター「6 階研修室」 + Web
- ・開催方法：現地 + Web（ハイブリッド）

2. 現地参加の方へ

- ・参加登録は可能な限り事前にオンラインにて以下 URL からお願いいたします。
（学会当日の参加も可能です）

登録期間：令和 8 年 7 月 22 日（水）～令和 8 年 9 月 23 日（水）

参 加 費：2,000 円（現地・Web 同様） ※会員以外の方も参加できます

登録方法：下記 URL よりご登録及びお支払いをお願いします。

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/6a43631e6ddc781e263f2b83

- ・参加受付：日本赤十字社中四国ブロック血液センター 6 階研修室前
【受付時間】2026 年 9 月 26 日（土） 12：00～16：00
- ・個人情報保護のため、会場内での発表内容の録音、撮影は禁止します。

3. オンライン参加の方へ

- ・参加登録：オンラインにて以下 URL からお願いいたします。

登録期間：令和 8 年 7 月 22 日（水）～令和 8 年 9 月 23 日（水）

参 加 費：2,000 円（現地・Web 同様） ※会員以外の方も参加できます

登録方法：下記 URL よりご登録及びお支払いをお願いします。

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/6a43631e6ddc781e263f2b83

- ・ご登録いただいたメールアドレス宛に参加用の URL をお送りさせていただきますので、そちらより、Web 参加ください。
- ・参加証はご登録いただいたメールアドレス宛に届いている参加証明書欄より、令和 8 年 9 月 29 日（火）以降ダウンロードいただけます。
- ・演題へのご質問には、Zoom の「Q&A 機能」をご使用ください。座長の裁量により、時間等に余裕がありましたら質問を読み上げさせていただきます。
- ・発表資料保存（画面キャプチャを含む）、録音、録画は禁止させていただきます。

4. 演者の先生方へ

- ・一般演題は発表時間 6 分、質疑応答時間 2 分です。
- ・次演者の先生は発表時間の 10 分前までに次演者席にお越しください。
- ・円滑な進行のため、時間厳守をお願いします。
- ・発表はすべて事務局側で準備した PC 発表（Windows PowerPoint）のみといたします。
- ・PowerPoint の「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。
- ・音声はご利用いただけませんのでご了承ください。
- ・発表データは、2026 年 9 月 23 日（水）終日までに、事務局が指定する場所へデータの提出をお願いいたします。指定場所については、演者ごとに別途ご案内させていただきます。
- ・提出締切期日以降のデータの修正はできません。
- ・演台上には、ノートパソコンを用意いたします。演台に上がると係員が最初のスライドを表示しますので、その後の操作は各自でおこなってください。
- ・スライドの比率は「16：9」で作成してください。（従来の 4：3 でも投影可能ですが、画面サイズが小さくなることをご了承ください）
- ・発表データは学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

5. 座長の皆様へ

- ・次座長の先生は担当セッションの開始予定時刻の 10 分前までに、次座長席にお越しください。
- ・配分はおまかせいたしますが、時間厳守（発表 6 分、質疑 2 分）をお願いいたします。

6. 代議員会

【日時】2026 年 9 月 26 日（土） 11：45～12：45

【会場】日本赤十字社中四国ブロック血液センター 1 階ガイダンスホール

- ・例会に参加される方は、代議員会前に参加受付（1 階）をお願いします。
- ・お弁当をご用意いたします。

7. 会場アクセス

中四国ブロック血液センターには来所者用駐車場がありません。ご来所の際は以下1) 2) の公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの場合は、周辺のコインパーキングをご利用くださいますようお願いいたします。

1) バスをご利用の場合

○広島バス

号線	広島駅バス乗り場	下車バス停	バス停からセンターまでの距離
21-2	3	日赤病院西もしくは 広島県情報プラザ前	徒歩 3 分
50	6	日赤病院前	徒歩 5 分
301	①	日赤病院前	徒歩 5 分

<広島駅バス乗り場>



参照) JR 広島駅バス乗り場案内 (<https://www.hiroden.co.jp/stop/hiroshima-st.html>)

参照) 広島駅南口バスのりばの変更について (https://www.hiroden.co.jp/topics/2024/0508-bus_hiroshimastation.html)

<血液センター周辺 バス降車場>

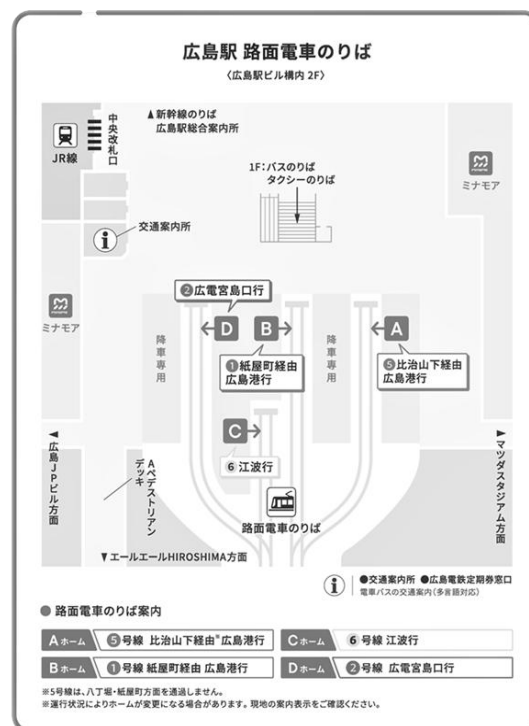


2) 電車をご利用の場合

○広島電鉄

号線	降車場所	バス停からセンターまでの距離
1号線（広島駅—広島港）	日赤病院前	徒歩5分
3号線（広電西広島—広島港）		
7号線（横川駅—広電本社前）		

<広島駅 路面電車乗り場>



参照)

広島駅の発着ホーム一部変更について (<https://www.hiroden.co.jp/topics/2026/0328-hiroshimast.html>)

<血液センター周辺 路面電車降車場>



日本赤十字社中四国ブロック血液センター社屋

A detailed map of the venue area. At the top center is a compass rose pointing North (N). Below it, the text "× : 通り抜け不可" indicates that passing through certain points is prohibited. The map shows several buildings: "ガイダンスホール (代議員会会場)" (Guidance Hall / Deputies Meeting Venue) on the left, "赤十字プラザ" (Red Cross Plaza) on the right, and "自販機" (Vending Machine) at the bottom right. Two main entrances are marked: "北入口" (North Entrance) at the top and "南入口" (South Entrance) at the bottom. A dashed line indicates the route starting from the North Entrance, going south past the Guidance Hall, then turning east towards the South Entrance, and finally turning north to reach the "EV" charging station. A callout box near the EV station says "こちらのEVで6Fにお上がりください" (Please get up to 6F with this EV). Other facilities shown include restrooms (男/Men and 女/Women icons), a reception desk labeled "受付 (休中止)" (Reception - Closed), and stairs.



研修室

N

立入禁止区域

X : 通り抜け不可

会場入口

受付

立入禁止

スクリーン

通行可

EV 当日 使用不可

EV 当日 使用不可

EV

第 71 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会 プログラム

例会長挨拶および総会

13 : 00～13 : 10

例会長：芦田 隆司（日本赤十字社中四国ブロック血液センター 所長）

支部長：和田 秀穂（川崎医科大学附属病院 特別院長補佐 総合診療科部長）

一般演題 I

13 : 10～13 : 50

採血・アフエーシス

座長：横畑 和紀（山口県赤十字血液センター 所長）

1. 同種末梢血幹細胞採取開始早期に呼吸困難感を呈し、低カリウム血症の 関与が示唆された健常人ドナーの一例

藤井 敬子^{1, 2)}、才野木 裕子^{2, 3)}、田中 佑加^{2, 3)}、下埜城 嗣^{2, 3)}、高木 尚江^{3, 4)}、
飯間 匠海³⁾、中村 茉由³⁾、堀田 結稀³⁾、小郷 博昭³⁾、浅野 尚美³⁾、藤井 伸治^{2, 3)}

1) 岡山大学病院検査部、

2) 岡山大学病院血液内科

3) 岡山大学病院輸血・細胞療法部

4) 岡山大学病院看護部

2. 小児アフエーシス –アフエーシスナースの視点から変遷を考察する–

高木 尚江¹⁾、藤井 敬子^{2, 3)}、芳賀 旦子¹⁾、金井 あかり¹⁾、川村 夢乃¹⁾、
萬永 洋子¹⁾、下埜城 嗣^{2, 4)}、才野木 裕子^{2, 4)}、田中 佑加^{2, 4)}、飯間 匠海⁴⁾、
堀田 結稀⁴⁾、中村 茉由⁴⁾、小郷 博昭⁴⁾、浅野 尚美⁴⁾、藤井 伸治^{2, 4)}

1) 岡山大学病院看護部

2) 岡山大学病院血液内科

3) 岡山大学病院検査部

4) 岡山大学病院輸血・細胞療法部

3. 小児アフエーシス –病棟看護師の取り組み–

芳賀 旦子¹⁾、金井 あかり¹⁾、川村 夢乃¹⁾、川口 由香²⁾、萬永 洋子¹⁾、
高木 尚江¹⁾、藤井 敬子^{3, 4)}

1) 岡山大学病院看護部

2) 岡山大学病院保育士

3) 岡山大学病院血液内科

4) 岡山大学病院検査部

4. 血液センターにおける血管迷走神経反応（VVR）の対応と看護の重要性

片岡 由佳¹⁾、牧野 志保¹⁾、土居 明子¹⁾、本田 紗也香¹⁾、河合 茉莉¹⁾、
内田 紋子²⁾、松本 喜久代²⁾、児嶋 直樹¹⁾、竹内 誠²⁾

¹⁾ 岡山県赤十字血液センター 表町出張所

²⁾ 岡山県赤十字血液センター

5. VVR(Vasovagal Reaction)発症後の献血時期

横畑 和紀、猶 奈津美、中川 拓哉、船越 久登

山口県赤十字血液センター

一般演題Ⅱ

13：50～14：30

輸血検査

座長：藤井 明美（広島県立病院機構 県立広島病院 臨床研究検査科）

6. 生後4ヵ月未満の乳児におけるコンピュータクロスマッチ導入の有用性

奈島 圭吾、畑山 祐輝、橋本 祐樹、小島 奈央、市川 ひとみ、河村 浩二

鳥取大学医学部附属病院検査部

7. カラム凝集法で抗体価をモニタリングした抗E保有妊婦の1症例

中川 智博¹⁾、久保 文香¹⁾、中村 颯¹⁾、久本 輝美¹⁾、角南 一貴²⁾

¹⁾ 国立病院機構岡山医療センター 臨床検査科

²⁾ 国立病院機構岡山医療センター 血液内科

8. H抗原の減弱を認めた急性骨髄性白血病の1症例

石川 悟¹⁾、佐藤 智美¹⁾、片山 有紀¹⁾、篠原 正勝¹⁾、浦本 まりな¹⁾、尾崎 修治²⁾

¹⁾ 徳島県立中央病院 医療技術局 検査技術科

²⁾ 徳島県立中央病院 血液内科

9. 支持療法としての輸血を理由に転院調整が難航した2症例

～不規則抗体保有患者における輸血部門の情報提供のあり方～

中村 有、松岡 瑞穂、上塚 美琴、森島 慶、岡野 真依、重廣 朝美、中田 麻希、

笠原 友理、岡本 潤、関藤 真由美

広島市立北部医療センター安佐市民病院 臨床検査部

10. 当施設における赤血球関連依頼検査の集計調査

竹崎 千尋、田中 瞳、平田 康司、栗木原 修治、芦田 隆司
日本赤十字社中四国ブロック血液センター 品質部 検査一課

一般演題Ⅲ

14 : 30～15 : 10

輸血臨床

座長：藤井 伸治（岡山大学病院 輸血・細胞療法部 部長）

11. 宿日直者を対象とした大量輸血プロトコル対応研修の評価と課題

矢内 綾佳¹⁾、野間 慎尋¹⁾、栗田 絵美¹⁾、山岡 愛子¹⁾、小松 真由美¹⁾、
柏原 真由¹⁾、小川 茂樹¹⁾、北川 裕華¹⁾、安井 歩実¹⁾、土石川 佳世²⁾、
山崎 尚也²⁾、藤井 輝久²⁾

¹⁾ 広島大学病院 診療支援部

²⁾ 同 輸血部

12. 定温輸送容器 BioBox LAB10 導入による緊急輸血時の安全確保と業務効率化の試み

鬼松 幸子¹⁾、深堀 道俊²⁾、安藤 実希¹⁾、山本 直子¹⁾、内田 圭一³⁾

¹⁾ 社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院 臨床検査部

²⁾ 公立八女総合病院 診療支援課

³⁾ 社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院 血液内科

13. 当院における分割製剤の使用状況と運用評価

安井 歩実¹⁾、野間 慎尋¹⁾、山岡 愛子¹⁾、栗田 絵美¹⁾、矢内 綾佳¹⁾、
小松 真由美¹⁾、柏原 真由¹⁾、小川 茂樹¹⁾、北川 裕華¹⁾、土石川 佳世²⁾、
山崎 尚也²⁾、藤井 輝久²⁾

¹⁾ 広島大学病院 診療支援部 臨床検査部門

²⁾ 広島大学病院 輸血部

14. AB 型・A 型クリオプレシピテート併用による当院での運用実態

吉田 智子¹⁾、仲井 富久江¹⁾、文屋 涼子¹⁾、野上 さくら¹⁾、永井 智美¹⁾、
中山 早苗²⁾、中石 しづか²⁾、安井 晴之進³⁾、和田 秀穂³⁾、近藤 英生^{1,3)}

¹⁾ 川崎医科大学附属病院輸血部

²⁾ 川崎医科大学附属病院看護部

³⁾ 川崎医科大学 血液内科

15. 当院で Spectra Optia™ MNC モードによる CAR-T 細胞製造用リンパ球採取を施行した 23 例の検討

池田 采音¹⁾、小西 達矢^{1,2)}、本田 貴嗣³⁾、重松 恵嘉²⁾、秋田 誠²⁾、岡本 康二²⁾、大野 雄河¹⁾、山根 未久¹⁾、増田 侑也¹⁾、加藤 潤一¹⁾、名部 彰悟¹⁾、丸田 雅樹¹⁾、宮崎 幸大¹⁾、越智 俊元^{1,4)}、土居 靖和²⁾、高須賀 康宣³⁾、山之内 純^{1,2)}、竹中 克斗¹⁾

¹⁾ 愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科

²⁾ 愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部

³⁾ 愛媛大学医学部附属病院 検査部

⁴⁾ 愛媛大学プロテオサイエンスセンター 免疫制御学部門

特別講演

15 : 30～17 : 10

座長：芦田 隆司（日本赤十字社中四国ブロック血液センター 所長）

1. 血液事業の現状 ～血液センターから診療機関に伝えたいこと～

島本 悦宏（日本赤十字社北海道ブロック血液センター 所長）

座長：和田 秀穂（川崎医科大学附属病院 特別院長補佐 総合診療科部長）

2. 骨髄不全症に対する新規抗貧血薬の役割

～赤血球輸血をいかに回避するか？～

森田 泰慶（近畿大学病院 血液・膠原病内科 准教授）

閉会挨拶

17 : 10～17 : 15

例会長：芦田 隆司（日本赤十字社中四国ブロック血液センター 所長）